

活 力



「活力」によりめざす将来のまちの姿

農林業、商業、工業と多彩な産業が盛んで、女性や若者など様々な人たちが希望をもって働いています。また、多くの人でまちが賑わい、様々な交流がひろがり、地域の特性を生かした持続的に発展する都市となっています。

活力の施策体系

【まちづくり目標（基本構想）】

3 個性豊かで活力あるまち

【基本政策（基本構想）】

3-6 産業の活力があふれる元気なまちづくり

【施策展開の方向（基本構想）】

3-6-1 地域の産業が盛んなまちをつくる

【施策（前期基本計画）】

19◇地域を支える商業・工業の振興 91 ページ

20◇地域とつながる都市農業・森林づくりの推進 95 ページ

【施策展開の方向（基本構想）】

3-6-2 多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる

【施策（前期基本計画）】

21◇伊勢原ならではの観光魅力づくり 100 ページ

22◇いせはらシティセールスの推進 104 ページ

【基本政策（基本構想）】

3-7 都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり

【施策展開の方向（基本構想）】

3-7-1 都市の骨格を支えるまちをつくる

【施策（前期基本計画）】

23◇地域特性を生かした新たな産業基盤の創出 107 ページ

24◇交流がひろがる拠点の形成 109 ページ

3-6-1

施策 19 地域を支える商業・工業の振興

新たな産業基盤の創出と合わせ、地域の優位性を生かした戦略的な企業誘致を推進するとともに、本市の成長・発展を支えてきた地域産業の活力の維持・向上を図るため、産業の集積や交流促進、産学官の連携、起業支援など、伊勢原生まれの技術や産業の振興を図ります。

また、地域の生活を支える商店・商店街の活性化を支援するとともに、観光や農産物など様々な地域の資源を活用した賑わいや魅力づくりを推進します。

目標とする状態

- ◆地域産業の活力が高まり、交流人口の増加とともに多くの方が市内で働いています。
- ◆商店や商店街が活性化し、消費者とのコミュニケーションが活発に行われています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
19-101	産業ビジョンの推進	今後のまちづくりにおける産業展開のビジョンを市内外に発信し、新たな都市基盤整備を契機とした産業振興や産業間の連携など、産業ビジョンを推進し、地域経済の活性化を図ります。
19-102	企業立地促進事業	研究・医療などの地域産業やさがみロボット産業特区制度を活用し、新規企業の誘致を戦略的に展開するとともに、既存企業の流出防止や再投資の促進など、産業の集積を図ります。
19-103	ものづくり創造・連携推進事業	伊勢原生まれの技術や製品開発に挑む起業家、第二創業経営者等への支援とともに、産学官連携による地域資源を活用した取組を推進し、地域産業の活性化と雇用機会の拡大を図ります。
19-104	商店街活性化支援事業	第2次商業振興計画に基づき、市内商店街の各エリアの魅力を高め、利便性の向上や商い力の強化、観光との連携、空き店舗対策など、商業の活性化を図ります。また、県道61号（平塚伊勢原）電線地中化事業など関連するまちづくりと連携を図り、賑わいのある商店街づくりを進めます。

個別事業計画表

事業番号 19-101		産業ビジョンの推進			(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 経済環境部を中心に、各種産業（農林業、商工業、観光、6次産業、連携産業等）の将来像を取りまとめた産業ビジョンを策定し、本市地域産業の方向性を示し活性化に取り組みます。 産業ビジョンを、シティーセールス（企業誘致活動）へ活用します。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	産業ビジョン策定	庁内検討組織による検討・策定				
	事業の具体化検討		産業ビジョンに沿った事業の具体化検討	産業ビジョンに沿った事業の具体化検討		
	事業展開				具現化された事業実施	
目標	指標名	指標の説明				
	産業ビジョンの策定と取り組みの具現化	産業ビジョンの策定及び新たな産業間の連携による事業数				
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	産業ビジョン策定	事業検討	1事業		
事業費総額（3年間の事業費見込み）					0千円	
財源内訳						
		(一般財源)			0千円	
		(国県補助等)			0千円	
		(起債)			0千円	
		(その他)			0千円	
予算事業コード	06-01-02-336-001	予算事業名	商工一般事務費			

事業番号 19-102		企業立地促進事業			(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> さがみロボット産業特区の関係市町協議会及び企業等との情報交換・情報発信を推進し、また、企業誘致活動を積極的に推進します。 産学官連携によるさがみロボット産業特区関連や成長産業分野などの情報交換・発信を推進します。 協議会、企業、産学連携等による情報を基に、本市の産業振興に適した優良な企業の誘致活動として企業訪問を積極的に推進します。 新たな奨励制度及び既存企業の支援制度等を検討します。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	企業誘致活動	推進体制整備、企業訪問	企業訪問	企業訪問		
	情報交換・情報発信	関係団体、企業との情報交換、情報発信事業	関係団体、企業との情報交換、情報発信事業	関係団体、企業との情報交換、情報発信事業		
	新制度検討、推進		奨励・優遇制度見直し	奨励・優遇制度見直し		
目標	指標名	指標の説明				
	企業訪問件数	情報収集や情報交換及び誘致活動等に伴う年間企業訪問件数				
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	—	10件	20件	30件		
事業費総額（3年間の事業費見込み）					1,979千円	
財源内訳						
		(一般財源)			1,979千円	
		(国県補助等)			0千円	
		(起債)			0千円	
		(その他)			0千円	
予算事業コード	06.01.02.343.001	予算事業名	企業立地促進事業費			

事業番号 19-103		ものづくり創造・連携推進事業		(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 起業者・第二創業経営者などへのセミナーや講演会の開催や支援メニューの検討・開発を進めます。 雇用機会の拡大創出につなげるため、求められる人材育成、事業者及び求職者双方のスキルアップ、マッチング機会の創出を進めます。 伊勢原ものづくりブランド開発や起業・創業に向けた産学官のマッチング機会や連携事業を創出します。 			
事業行程		項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		起業支援の推進	事業の検討 セミナー等実施	支援メニュー検討 セミナー等実施	支援メニュー検討 セミナー等実施
		雇用機会拡大の推進	事業の検討 セミナー等実施	セミナー等実施	セミナー等実施
		雇用促進協議会支援	事業支援	事業支援	事業支援
		産学官連携の推進		連携推進	連携推進
目標		指標名	指標の説明		
		セミナー等開催件数	起業・創業関連及び雇用関連のセミナー・情報交換会等の開催件数累計		
		現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		—	2件	5件	8件
事業費総額(3年間の事業費見込み)					737千円
財源内訳					737千円
		(一般財源)			737千円
		(国県補助等)			0千円
		(起債)			0千円
		(その他)			0千円
予算事業コード	06.01.03.346.001	予算事業名	地域雇用創出事業費		

事業番号 19-104		商店街活性化支援事業		(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 各商店会が実施する商店街の活性化事業(集客イベント等)に対して引き続き支援を行っていきます。 第2次商業振興計画を策定し計画に基づき、各種イベントの開催や地域の農産物や観光資源を活用したブランドの開発及び販路の拡大を行い、また、共同施設の整備やアドバイザー派遣制度等を活用して商業者の育成を推進し魅力ある店づくりなどを行います。 観光客を新たな顧客とするため、観光施策と連携した新たなイベントの取り組みなどを推進します。 			
事業行程		項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		商店街活性化支援	継続的支援	継続的支援	継続的支援
		第2次商業振興計画	計画策定・実行	計画実行	計画実行、基礎調査
		県道61号電線地中化整備に伴う商店街支援	継続的支援	継続的支援	継続的支援
目標		指標名	指標の説明		
		商業活性化に向けた各種イベント等の開催	基本方針に沿って行われる事業内容ごとの各種イベント等の開催数		
		現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		5回	10回	12回	15回
事業費総額(3年間の事業費見込み)					6,621千円
財源内訳					6,621千円
		(一般財源)			6,621千円
		(国県補助等)			0千円
		(起債)			0千円
		(その他)			0千円
予算事業コード	06.01.02.337.003 06.01.02.337.004	予算事業名	商店街活性化支援事業費 商業振興計画推進事業費		

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当
第2次中小企業集団化支援事業	住環境の向上と操業環境の改善等を図るため、伊勢原市商工会工業部会と連携して中小企業の集団化事業に取り組みます。	商工観光振興課

3-6-1

施策 20

地域とつながる都市農業・森林づくりの推進

新たな担い手の確保や農業基盤の整備など、生産性の高い農業経営の安定化をめざすとともに、農産物のブランド化、農業の6次産業化など、新たな付加価値を生み出す活力ある農業を振興し、関係機関と連携して都市近郊の利点を生かす都市農業を推進します。

また、森林の持つ水源のかん養など多面的な公益的機能を保全し、計画的な施業管理を行うとともに、林産物の生産性の向上など、林業を支える基盤づくりを推進し、豊かな森林を次代に継承します。

目標とする状態

- ◆多様な担い手により優良な農地が維持され、消費者のニーズを捉えた新鮮で安心・安全な地場農産物が幅広く普及し、多岐に及ぶ農業が盛んに行われています。
- ◆市の貴重な財産である森林などの自然資源が、次代に確実に引き継がれています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
20-101	農業基盤整備促進事業	農業経営と農村環境の向上を図るため、下小稲葉地区の用排水路や農道など農業基盤施設の整備を進めます。
20-102	農業経営基盤強化対策事業	優良な農地を保全するため、企業の参入など新たな担い手の確保や農地の集約化を促進し、遊休農地や荒廃農地の解消に努めます。
20-103	有害鳥獣対策事業	鳥獣による被害防除対策を地域とともに効果的に推進し、鳥獣による被害の軽減とヤマビルの生息域の縮小を図ります。
20-104	農産物ブランド化推進事業	農産物のブランド化や地場産品の販売促進など、関係機関と連携して付加価値を生む地域農業の振興を図るとともに、農商工連携や6次産業化など、新たな商品開発を進めます。
20-105	林業基盤整備事業	林産物の生産性向上や森林のもつ多面的な公益的機能を保全するため、水源の森林づくりエリア内に作業路網を計画的に整備します

個別事業計画表

事業番号 20-101		農業基盤整備促進事業		(経済環境部 農業振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 農業経営と農村環境の向上を図るため、下小稲葉地区の農業基盤施設整備計画を策定し、地区の課題である水路（全体延長 L=950mのうちL=120m）の整備を優先して進めます。 			
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	計画・測量・設計	計画策定	新規測量・設計実施	継続実施	
	水路整備工事			新規工事実施	
目標	指標名	指標の説明			
	水路の整備延長	水路整備（全体延長L=950m）の完了した累計延長			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	—	整備計画策定	測量・設計	水路 L=120m	
事業費総額（3年間の事業費見込み）		11,000千円			
	財源内訳	（一般財源）		5,500千円	
		（国県補助等）		5,500千円	
		（起債）		0千円	
		（その他）		0千円	
予算事業コード	05.01.05.795.001	予算事業名	基盤整備促進事業費		

事業番号 20-102		農業経営基盤強化対策事業		(経済環境部 農業振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 毎年1haの荒廃農地を耕作できる農地に復元し、規模拡大農家や新規就農者、法人等の新たな担い手へ農地の利用集積を図ります。 市独自の新規就農者となるための規定を作成し、新たな担い手の確保を推進します。 			
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	荒廃農地整備	1ha	1ha	1ha	
	荒廃農地解消策	調査・検討	検討・作成	実施	
	新規就農認定規定	検討	作成	実施	
	利用集積	2ha	2ha	2ha	
目標	指標名	指標の説明			
	荒廃農地解消面積	荒廃農地整備事業等による荒廃農地解消面積			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	10.5ha	10.2ha	9.9ha	9.6ha	
事業費総額（3年間の事業費見込み）		2,808千円			
	財源内訳	（一般財源）		1,008千円	
		（国県補助等）		1,800千円	
		（起債）		0千円	
		（その他）		0千円	
予算事業コード	05.01.03.293.001	予算事業名	農業経営基盤強化対策事業費		

事業番号 20-103		有害鳥獣対策事業備		(経済環境部 農業振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 伊勢原市鳥獣被害対策実施隊の構成メンバーを強化するため、市職員のみから猟友会員や有害鳥獣対策協議会員等、鳥獣対策を積極的に行うメンバーを隊員とし、効果的な有害鳥獣の駆除や防除対策を実施します。 農作物被害をもたらすサルの被害軽減のため、サルの追い払い隊の活動を強化します。 ヤマビル対策は、高部屋地区(日向)を中心に自治会等地域の団体と連携した防除対策を実施します。 			
事業行程		項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥獣被害防止計画	第2次計画策定準備	第2次計画策定	計画推進
		鳥獣被害対策実施隊の設置	検討・準備	設置	対策活動
		サル追い払い・捕獲檻等管理事業	実施	実施	実施
		有害鳥獣・ヤマビル対策地域支援事業	補助・支援	補助・支援	補助・支援
目標		指標名	指標の説明		
		野生動物による農作物等の被害額	伊勢原市鳥獣被害防止計画に基づく農業被害額の削減		
		現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		2,8345千円	2,5511千円	2,2960千円	2,0664千円
事業費総額(3年間の事業費見込み)					25,632千円
財源内訳					(一般財源) 21,384千円
					(国県補助等) 4,248千円
					(起債) 0千円
					(その他) 0千円
予算事業コード	05.01.03.305.001	予算事業名	有害鳥獣対策事業費		

事業番号 20-104		農産物ブランド化推進事業		(経済環境部 農業振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 農産物ブランド化認定制度による特産物の認定を進めるとともに、特産物品のPR活動と販路拡大を支援します。 6次産業化や農商工連携等の関係機関との調査・研究を促進し、新たな商品化を進めます。 ジビエの商品開発に伴う調査・研究を支援します。 			
事業行程		項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		新たな地産認証制度等	調査研究	制定準備	制定
		販路拡大等の調査・支援	支援	支援	支援
		6次産業化等の調査・研究	調査・研究	調査・研究・商品化	調査・研究
		新たなブランド品の調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
目標		指標名	指標の説明		
		いせはらブランドの確立	伊勢原市地域特産物研究会による農産物ブランド認定制度による認定数		
		現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		4品目	4品目	5品目	6品目
事業費総額(3年間の事業費見込み)					9,150千円
財源内訳					(一般財源) 750千円
					(国県補助等) 8,400千円
					(起債) 0千円
					(その他) 0千円
予算事業コード	05.01.03.307.001	予算事業名	農産物ブランド化推進事業費		

事業番号 20-105		林業基盤整備事業		(経済環境部 農業振興課)	
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 森林管理道の計画全体延長 L=5,500m のうち、L=3,300m の整備を推進します。 [枝打、間伐、木材搬出用 道路 幅員 W=2m] 影取・鐘ヶ嶽作業路、大久保作業路 延長 L=1,100m 幅員 W=2.5m 			
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	影取・鐘ヶ嶽作業路				
	大久保作業路				
	作業路				
目 標	指標名	指標の説明			
	水源林管理道の整備延長	水源林管理道の各年度の整備延長			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	L=200m	L=1,100m	L=1,100m	L=1,100m	
事業費総額(3年間の事業費見込み)				25,200千円	
財源内訳		(一般財源)			2,520千円
		(国県補助等)			22,680千円
		(起債)			0千円
		(その他)			0千円
予算事業コード	05.02.01.329.003	予算事業名	水源林管理道網整備事業		

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当
農とみどりの整備事業	農業の基本施設である能動、水路の整備を進めます。	農業振興課
村づくり交付金（高部屋地区）事業	村づくり事業や農とみどりの整備事業など国県の補助金を活用して、各地域の特性に応じた基盤施設を整備します。	農業振興課
森林管理事業	森林所有者が行う、森林の持つ公益的機能の確保、保全を支援します。	農業振興課
猪の山作業道整備事業	森林施業就労者の不足に伴い、森林施業の共同化や合理化を進めるとともに、林業経営の安定化、森林保全を図るため、計画的な林道および作業道の整備を推進します。	農業振興課
森林環境保全活動事業	里山整備事業は、人とのつながりを失い荒廃しつつある里山林の豊かな自然を取り戻すため、地域住民が中心となった里山保全活動を行い、里山の維持・復元を推進します。	農業振興課
市民活動林整備事業	企業、NPOや市民ボランティアと連携し、森林や里山の適切な保全・管理を行います。	農業振興課
環境保全型農業導入支援事業	消費者ニーズに対応した安全・安心かつ農産物の生産・供給に支援し、地域が一体となって環境にやさしい農業を推進します。	農業振興課
谷戸田整備事業	復元した谷戸田を、都市住民の農業体験の場として活用し、谷戸田の原風景の保全に努めます。	農業振興課
農業地域環境整備事業	農業者の高齢化や担い手不足に対処するため、生産性の向上や効率的で持続性の高い安定した農業経営の確立を図り担い手の確保と育成を図ります。	農業振興課
農業振興地域整備計画管理事業	社会的状況変化に対応するため、概ね5年毎に農業振興地域整備計画の全体見直しを実施します。	農業振興課
農地・水・環境保全向上対策事業	農業従事者の高齢化や担い手不足等により農道や用排水路などの農業施設の保全活動の低下を防止するため、施設の維持保全活動や景観形成等に取り組む団体へ支援を行います。	農業振興課

3-6-2

施策 21 伊勢原ならではの観光魅力づくり

大山・日向を中心とした数多くの歴史・文化遺産を活用し、伊勢原ならではの個性を磨くとともに、地域資源や観光施設などとの連携による回遊性を高め、四季を通じて多くの人を引きつける魅力ある観光地づくりを推進します。

また、大山街道に関わる地域や歴史的につながりのある地域との連携を図るとともに、市民や事業者との協働により、地場産品を活用した体験型の企画イベントなど、新たな観光魅力づくりを推進します。

目標とする状態

- ◆地域資源を生かした様々な交流が活発化し、1年を通じて多くの観光客で賑わっています。
- ◆交流を大切にするおもてなしの心がひろがり、国際的な観光地として、国内外から多くの方が訪れています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
21-101	大山魅力再発見事業	県の新たな観光の核づくり事業の認定を受けた「平成大山講プロジェクト」を推進し、大山・日向を中心とした丹沢大山の地域振興や観光地づくりを進めます。また、温泉資源など地域資源の活用について、研究・検討を進めます。
21-102	日向魅力アップ事業	日向薬師など歴史・文化と豊かな自然の魅力を生かした個性的なまちづくりを進め、他地区との連携による地域の活性化を図ります。
21-103	観光拠点ネットワーク事業	大山街道や歴史的に関わりのある地域との交流や連携などを図り、広域観光の拡大を推進します。
21-104	花・歴史・健康散策コースづくり事業	四季折々の花の名勝や歴史遺跡など、おなじみのスポットから隠れた名所まで、健康づくりにも貢献する散策コースづくりや交流拠点の充実を図り、様々な資源と連携した観光の活性化を進めます。

個別事業計画表

事業番号
21-101

大山魅力再発見事業

(経済環境部 商工観光振興課)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 「平成大山講プロジェクト」を推進し、新たなハイキングコースづくり、観光行事、イベントの充実・強化（四季を通じた誘客促進）、多様な観光ガイドの導入、外国人受入体制の整備を中心に取り組みます。 また、行楽シーズンの慢性的な交通渋滞解消のため警備業務を強化します。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	新たなハイキングコースづくり	検討・調査	コース設定	コース設定・整備	
	観光行事、イベント	5イベント実施	5イベント実施	6イベント実施	
	多様な観光ガイドの導入	Wi-fi 機器による情報発信	多言語観光 ^ハ ソ作成	多言語観光 ^ハ ソ作成	
	外国人受入体制の整備	「おもてなし塾」の開講	「おもてなし塾」の継続	「おもてなし塾」の継続	
目標	指標名	指標の説明			
	入込観光客数	大山方面及び日向方面の年間入込観光客数			
	現状値(平成21年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	103万人	106万人	107万人	108万人	
事業費総額(3年間の事業費見込み)				12,550千円	
財源内訳				(一般財源)	3,513千円
				(国県補助等)	9,037千円
				(起債)	0千円
				(その他)	0千円
予算事業コード	06.01.04.361.002	予算事業名	大山・日向地域活性化推進事業費		

事業番号
21-102

日向魅力アップ事業

(経済環境部 商工観光振興課)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 日向地区の観光資源を題材とした企画イベントの開催、歴史・遺跡巡り観光パンフレットの作製と、案内サインや道標等の観光施設の整備に取り組みます。 日向地区の活性化を推進するNPOとの連携を深めて、新たなイベント等を開催します。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	企画イベントの開催	3イベント開催	4イベント開催	5イベント開催	
	地元との観光振興に係る協議	協議(1回)	協議(2回)	協議(2回)	
	観光施設等整備・観光PRの検討	観光施設等の整備・観光PRの検討・実施	観光施設等の整備・観光PRの検討・実施	観光施設等の整備・観光PRの検討・実施	
	歴史・遺跡巡り観光パンフレットの作製	パンフレット作製	パンフレット作製	パンフレット作製	
目標	指標名	指標の説明			
	日向地区の企画イベント数	日向地区の観光資源を活用したイベントの年間開催数			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	1回	3回	4回	5回	
事業費総額(3年間の事業費見込み)				2,860千円	
財源内訳				(一般財源)	2,860千円
				(国県補助等)	0千円
				(起債)	0千円
				(その他)	0千円
予算事業コード	06.01.04.361.001	予算事業名	日向魅力アップ事業費		

事業番号 21-103		観光拠点ネットワーク事業		(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の誘致拡大を図るため、丹沢・大山エリア行政間において、大山・日向を中心とした広域的に周遊できる回遊イベント等を実施するとともに、大山街道に関わる地域間の交流を図ります。 広域行政連絡会（観光推進部会）において、各自治体と連携し集客イベントを開催します。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	丹沢・大山地域の新たな取組	1イベント開催	2イベント開催	2イベント開催	
	大山街道関連の新たな取組	1イベント開催	1イベント開催	1イベント開催	
目標	指標名	指標の説明			
	広域周遊イベント数	丹沢・大山エリアを周遊できるイベント数			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	—	2回	3回	3回	
事業費総額（3年間の事業費見込み）		300千円			
	財源内訳	(一般財源) 300千円 (国県補助等) 0千円 (起債) 0千円 (その他) 0千円			
予算事業コード	06.01.04.361.004	予算事業名	観光拠点ネットワーク事業費		

事業番号 21-104		花・歴史・健康散策コースづくり事業		(経済環境部 商工観光振興課)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 散策ルートの検討とコース設定を行い、花、歴史・遺跡、健康づくりをセットにしたマップを作成するとともに散策コースの整備を進めます。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	花・歴史・健康散策コース	6コース設定	1コース設定	1コース設定	
	散策コース及び指導標 修繕・設置	修繕	修繕・3箇所設置	修繕・3箇所設置	
目標	指標名	指標の説明			
	花・歴史・健康散策コースの設定数	花・歴史・健康散策コースの設定数（累計）			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	—	6コース	7コース	8コース	
事業費総額（3年間の事業費見込み）		3,150千円			
	財源内訳	(一般財源) 3,150千円 (国県補助等) 0千円 (起債) 0千円 (その他) 0千円			
予算事業コード	06.01.04.354.001	予算事業名	ハイキングコース整備事業費		

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当
ハイキングコース整備事業	手軽に自然環境を満喫できるハイキングコースを整備し、観光地として魅力を高めます。	商工観光振興課
観光施設維持管理事業	観光客が多く訪れるよう観光施設の充実を図ります。	商工観光振興課
県道611号(大山板戸)大山バイパス整備促進事業	大山への観光客のアクセス機能の強化や地域の交通安全、生活環境の向上を図るため、関係機関と連携し整備を促進します。	国県事業対策課

施策 22 いせはらシティセールスの推進

本市には豊かな自然環境や歴史・文化遺産、農産物、優れた医療環境や子育て・福祉・教育環境、アクセス性の高い交通網など、地域の魅力や資源が豊富にあります。市の魅力や地域資源などを効果的に広く内外に情報発信することにより、市のイメージや知名度の向上を図るとともに、観光や就業など多様な交流人口を増やし、地域経済活動の活性化を促進します。

目標とする状態

- ◆伊勢原の都市イメージが定着し、市内外に伊勢原の魅力や取組が分かりやすく伝わり、様々な交流が盛んに行われています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
22-101	シティセールス推進事業	市民・事業者・市などオール伊勢原の推進体制を構築し、市の知名度の向上をめざすとともに、様々な魅力ある資源を市内外に広く発信し、地域の活性化を図ります。
22-102	いせはらイメージアップ推進事業	本市の魅力や特色を市内外に効果的に発信するため、公式のマスコットキャラクターやご当地ナンバープレートなどを導入するとともに、イベントや観光キャラバンなどへ積極的に活用し、知名度の向上やイメージアップを図ります。

個別事業計画表

事業番号 22-101		シティセールス推進事業			(企画部 広報広聴課)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 本市の魅力を発信するため、(仮称)シティセールス推進計画を策定し、推進体制を構築します。 農産物、お土産等のブランド化を図り、市内外へ積極的にPRしていきます。 					
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	マスメディアへの積極的なPR	継続実施	継続実施	継続実施		
	新たな情報ツールによる情報発信の強化	調査研究・運用	調査研究・運用	調査研究・運用		
	観光集客戦略	調査研究・運用	調査研究・運用	調査研究・運用		
	伊勢原ブランド戦略	調査研究・運用	調査研究・運用	調査研究・運用		
目標	指標名	指標の説明				
	シティセールスの推進	本市に関する内容のテレビでの放映回数(年間)				
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	15回	16回	17回	18回		
事業費総額(3年間の事業費見込み)				800千円		
財源内訳				800千円		
				0千円		
				0千円		
				0千円		
予算事業コード	02.01.02.813.001	予算事業名	シティセールス活動費			

事業番号 22-102		いせはらイメージアップ推進事業			(企画部 広報広聴課)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 本市の魅力を市内外に発信するため、誰にでも親しまれる伊勢原市公式イメージキャラクターを選定し、当該キャラクターを活用したご当地ナンバーを作製する。 着ぐるみを作成し、ゆるキャラグランプリや各種イベント等へ積極的に参加し、本市の魅力発信や知名度向上に努めます。 					
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	イメージアップ戦略	着ぐるみ製作・運用開始	継続実施	継続実施		
	ご当地ナンバー配布	制作・交付・交換	交付・交換	交付・交換		
目標	指標名	指標の説明				
	いせはらイメージアップの推進	イメージキャラクター出演回数				
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	-	5回	15回	20回		
事業費総額(3年間の事業費見込み)				4,617千円		
財源内訳				1,590千円		
				627千円		
				0千円		
				2,400千円		
予算事業コード	02.01.02.813.001 02.02.02.083.001	予算事業名	シティセールス活動事業費 賦課徴収事務費			

その他の関連の事業

事業名	事業内容	担当
市の魅力発信連携事業 (観光協会支援事業)	観光を活かした産業振興を推進するため、一般社団法人伊勢原市観光協会を支援します。	商工観光振興課

3-7-1

施策 23 地域特性を生かした新たな産業基盤の創出

新東名高速道路インターチェンジ周辺、都市計画道路横浜伊勢原線沿道地域では、豊かな自然環境や住環境との調和を図りながら新たな産業用地を創出し、計画的な市街地の拡大を進めます。併せて、優れた医療環境や広域交通のアクセス性など、地域の優位性を生かした積極的な企業誘致に取り組み、進出企業のニーズをとらえた計画的な産業集積を促進します。

目標とする状態

- ◆地域を大切にする企業が集積し、雇用機会が創出され、新たな市街地の交流が始まっています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
23-101	東部第二土地区画整理推進事業	都市計画道路横浜伊勢原線沿道において、歌川産業スクエアに続く新たな産業用地を創出します。
23-102	北インター周辺地区まちづくり推進事業	伊勢原北インターチェンジ開設に併せ、豊かな自然環境や集落環境と調和した新たな交流拠点としての機能を創出します。

個別事業計画表

事業番号 23-101		東部第二土地区画整理推進事業		(都市部 都市整備課)	
事業内容	・民間事業者の作成する事業計画素案を基に地権者の同意書収集を行うとともに、国や県との都市計画等の協議及び法手続きを進め、市街化区域編入、組合設立を目指します。				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業主体	準備委員会	組合設立認可	組合設立	
	法手続き	国県調整	市街化区域編入		
	企業誘致	情報収集	確定	立地準備	
目標	指標名	指標の説明			
	土地区画整理事業の推進	組合施行による土地区画整理事業で産業系の用地を創出し、進出する企業の使用収益開始に向けての成果			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業化推進策の取組み	区域確定・進出企業のリスト作成	同意書収集 市街化区域編入	組合設立 工事着手	
事業費総額(3年間の事業費見込み)		3,800千円			
財源内訳		(一般財源)	3,800千円		
		(国県補助等)	0千円		
		(起債)	0千円		
		(その他)	0千円		
予算事業コード	07.04.01.408.003	予算事業名	東部新産業軸の形成事業費		

事業番号 23-102		北インター周辺地区まちづくり推進事業		(都市部 都市整備課)	
事業内容	・新たな広域交流の拠点となるまちづくりを進めるため、基礎調査を実施し、交流拠点の形成に向けたまちづくり手法を確立していきます。				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	地元組織	研究会	研究会	まちづくり実施組織の確立	
	基礎的調査	埋蔵文化財試掘調査	権利者調査	測量調査	
	都市計画決定	関係機関調整	関係機関調整	都市計画手続き	
	まちづくり手法	手法の検討	区域の検討	区域の決定	
目標	指標名	指標の説明			
	土地利用計画の確定	事業手法の決定			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	事業手法の検討	事業手法の検討	事業手法の決定	都市計画手続き	
事業費総額(3年間の事業費見込み)		20,274千円			
財源内訳		(一般財源)	14,274千円		
		(国県補助等)	6,000千円		
		(起債)	0千円		
		(その他)	0千円		
予算事業コード	07.04.01.408.002	予算事業名	北インター周辺地区まちづくり推進事業費		

3-7-1

施策 24 交流がひろがる拠点の形成

伊勢原駅北口周辺地区における街路や駅前広場などの市街地整備を推進するとともに、民間活動の誘発効果を高め、商業・業務の集積など中心市街地としてふさわしい秩序ある土地利用を促進し、通勤通学者、買い物客、観光客など多くの人が行き交い、賑わいと活力のある交流拠点の整備を進めます。

目標とする状態

◆伊勢原駅周辺の市街地整備が進み、多くの人が行き交い、まちが賑わっています。

主な事業

事業No.	主な事業	事業の概要
24-101	伊勢原駅北口周辺地区整備事業	市の玄関口である伊勢原駅北口周辺地区を整備し、街路や駅前広場など交通の結節点機能の向上と、中心市街地の賑わいの創出・再生を図ります。

個別事業計画表

事業番号 24-101		伊勢原駅北口周辺地区整備事業			(都市部 都市整備課)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路伊勢原駅前線整備を進めるため用地の先行取得を進めます。 現在の都市計画の変更及び地区計画策定の手続きを進めます。 				
事業行程	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	都市計画	方針検討	市案作成	変更手続き	
	基盤整備	地元調整	関係機関調整	計画素案作成	
	用地の先行取得	地元調整	地元調整・用地取得	一部供用開始・用地取得	
目標	指標名	指標の説明			
	都市計画道路伊勢原駅前線の用地取得の割合	都市計画道路伊勢原駅前線の未整備区間における用地取得面積の割合 (現状値には、現在の道路面積も含む)			
	現状値(平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	28%	28%	32%	35%	
事業費総額(3年間の事業費見込み)		186,173千円			
財源内訳		(一般財源)	16,213千円		
		(国県補助等)	6,960千円		
		(起債)	0千円		
		(その他)	163,000千円		
予算事業コード	07. 04. 09. 429. 001	予算事業名	伊勢原駅北口市街地整備推進事業費		